

令和2年度 南相馬市立上真野小学校 グランドデザイン

～学校・家庭・地域の信頼関係を基盤とした「特色ある学校づくり」に努め、子どもの生きる力を育む。～

相双教育アピール・『愛と英知と創造』
社会につなぎ未来を切り拓く相双の教育
 『限りない知性』
 『感謝と思いやり』 『活力ある心身』
 『多様な学びと共生』
 『夢に向かってチャレンジ』

南相馬市復興総合計画・教育振興基本計画
南相馬市学校教育努力事項

- 確かな学力の育成 ○道徳教育、生徒指導の充実
 - 体育と健康に関する指導の充実 ○特別支援教育の充実
 - 開かれた学校づくりの推進 ○図書館教育の充実
- ☆授業改善プラン「9つの課題」☆

教育目標

「生きる力を育み、みんなと共に自己を高めることができる子どもの育成」

思いやりのある子ども **進んで学習する子ども** **体をきたえる子ども**

重点目標

「自分たちの学校を もっと自分たちの手で」
～気づき 伝え合い ともに行動しよう～

学校経営5つの理念

- 1 本校の歴史と伝統を重んじ、人間尊重の精神を基盤とした教育を推進する。
- 2 徳・知・体の調和を図り、心豊かで、かしこく、たくましい子どもを育成する。
- 3 小規模校のよさを生かし、上真野ならではの教育活動を展開する。
- 4 家庭・地域との連携を大事に市、望ましい教育活動を展開する。
- 5 事故防止に配慮し、安全・安心な学校教育を推進する。

《めざす子ども像》こんな子どもに…

- 相手を思いやり、互いに認め合って楽しく生活する子ども
- 基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得し、これらを活用して主体的・対話的に問題を解決する子ども
- 健康や運動に関心を持ち、目標に向かって粘り強く取り組む子ども

《めざす学校像》こんな学校に…

- 子ども一人ひとりの良さが生きる学校
- 教育環境（人・もの・こと）の整った学校
- 社会に開かれ、安全と安心が保たれた学校
- 不祥事のない信頼される学校

《めざす教師像》こんな教師に…

- 教育者としての使命感と誇りを持ち、職責を果たす教職員
- 研修に励み、専門的な力量を身につけようとする教職員
- 豊かな人間的資質をみにつけるために努力する教職員
- 子ども・家庭・地域・同僚から信頼される教職員
- 心身ともに健康で、明朗快活な教職員

豊かな心<徳>

◎ 相手を思いやり、互いに認め合って楽しく生活する子どもを育てます。

- 1 道徳的実践力の向上
「考え議論する」道徳の充実に向けて指導法の工夫・改善に努める。
○帰りの会と朝の会における「自己を見つめる時間」の設定
○重点価値の位置づけ
○「特別の教科道徳」の授業の充実
- 2 思いやり助け合う集団の育成
小規模校のよさを生かし、連帯意識を高める活動を充実する。
○児童主体の異学年交流活動の充実
○学級活動における話し合い活動の充実
○考え、実践し、自己有用感を高める児童会活動
○いじめの積極的な認知と迅速かつ継続的な対応
- 3 体験活動の充実
外部人材を活用した体験活動を推進する。
○専門家招致による体験活動の充実
○「至誠（まごころ）学」の積極的な推進

- いじめ重大事案「0」と要注意事案解消100%
- 「友達の気持ちを考えて仲よく生活する子」そう思う+だいたいそう思う 割合85%以上

確かな学力<知>

◎ 基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得し、これらを活用して主体的・対話的に問題を解決する子どもを育てます。

- 1 基礎的・基本的事項の定着
児童一人一人の学習状況をとらえたきめ細かな指導をする。
○スキルタイム、個別指導の時間における発展的・補充的な学習
○定着確認・活用力育成シートの活用
○家庭学習の習慣化（家庭学習スタンダード・家庭学習の手引きの活用）
○興味・関心や、読解力を高める新聞の活用
- 2 授業の改善充実
「主体的・対話的な授業」の推進に努める。
○授業スタンダードの活用と、市授業改善プランに基づく「9つの課題」改善の取組
○教える授業から考えさせる授業へ
○協同的な学びにつながる学習課題の設定
○思考的なペア・グループ学習の充実
○振り返りと定着の場の設定
○特別支援教育の充実（交流学习）

- 市学力テスト学級平均偏差 前年度比で全学級プラス
- 「進んで家庭学習に取り組む子」そう思う+だいたいそう思う 割合90%以上

健やかな体<体>

◎ 健康や運動に関心を持ち、目標に向かって粘り強く取り組む子どもを育てます。

- 1 めあてを持った日常の体育活動の推進
「柔軟性」「筋力」の向上をめざして計画的・継続的な指導に努める。
○意欲を高める学習カードの効果的活用
○体力向上に向けての場の設定の工夫
○運動身体づくりプログラムの活用
- 2 保健・安全への実践的態度の育成
健康や安全な生活についての意識を高め、実践できる場の設定を工夫する。
○健康や安全への意識の高揚（児童・保護者）
○保健委員会の取組
○歯科受診の積極的な推進
○「早寝」「早起き」「朝ご飯」の呼びかけ
○外部講師による食育指導

- 新テスト「柔軟性」「筋力」全国平均以上
- 「進んで体をきたえる子ども」80%以上
- 歯科受診率80%以上(冬季休業明けまで)

教師の資質・指導力の向上

◎ よさを認め、励まし、伸ばす指導で子どもの「生きる力」育みます。

- 1 積極的な生徒指導を推進する。
○信頼関係を土台とした学級経営
○子どもの心に寄りそった言葉かけ
- 2 現職教育を中心に研修の充実に努める。
○校内・校外研修の充実
○「自発的・自治的な活動の充実を図る特別活動」の研究推進
(福島県小教研特別活動研究部会指定校)
- 3 服務倫理委員会の積極的な運用を図る。
○風通しのよい職場の雰囲気づくり
○事例に学び・生かす組織的な取り組み
- 4 人事評価システムの活用を図る。
○個々の努力目標の設定と実践・評価
○校務分掌の確実な遂行
- 5 危機管理体制の構築
○内外からの点検・評価・改善
○日常生活での危機管理意識の高揚

- 児童にかかわる学校事故「0」
- 教職員に関わる不祥事「0」

開かれた学校づくり

地域の特色を生かした教育活動

保・小・中連携

報徳仕法を要としたふるさと教育

積極的な情報の発信

保護者・地域との連携